

氏名	山口 達寛	部署	研究開発センター	職名	特任助教
研究分野	生理学、健康科学				
学位	博士（学術）				
学歴	2021年東京大学教養学部統合自然科学科、2023年東京大学大学院総合文化研究科修士課程、2026年東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程				
経歴	2023年日本学術振興会特別研究員				
所属学会（役職）	日本筋学会、日本体力医学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Chronic systemic inflammation by peptidoglycan-polysaccharide induces skeletal muscle atrophy in male and ovariectomized C57BL/6J mice	共著	あり	○	Physiological Reports. 13(12):e70431.	Kinoshita R, Jung J, Hattori S, Yamaguchi T, Kotani T, Kouzaki K, Tamura Y, Nakazato K.	2025.6
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	Muscle Unloading and Immobilization Exhibit Different Type-Specificity in Myofiber Atrophy and Neuromuscular Junction Degeneration	共同	2025 American Physiology Summit. Baltimore, USA.		○Yamaguchi T, Tamura Y, Sasaki K, Nakazato K.		2025.04.25
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的研究・萌芽)	光遺伝学を用いた神経筋電気刺激に代わる随意筋収縮モデル構築への挑戦			研究分担者	2024.6～2026.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし						
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし						
(3) 実習							
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし						
(4) 論文指導							
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数				
1	該当なし		主指導	名	副指導	名	

(5) その他			
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	該当なし		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		